

大学生と農山漁村との連携事例



大阪樟蔭女子大学

実施主体名: 徳島ゆずプロジェクト

担当窓口

学芸学部ライフプランニング学科
フードスタディコース

URL

<https://yonroppa.com/archives/school/1042>



活動内容

「Farm-to-Table」（農園から食卓まで）をキーワードに、徳島県那賀郡那賀町をフィールドとした農業体験、加工体験、郷土食体験、そしてカフェ体験をおこなっている。農業体験では、耕作放棄地になる恐れのあるユズ畑での農薬不使用のユズの収穫とゆず酢を含めたユズ加工品の生産体験を行う。地元高齢女性の方々と交流しながらの郷土食体験のほか、地域住民との交流と大学での学びの成果発表を目的として、1日限定のカフェをオープンし、自らレシピ開発したランチを提供する。



きっかけ

那賀町の地域おこし協力隊の方と学科教員の交流から、中山間地農業と地域社会の現状と課題を学修する機会の創出、そして地域間、世代間交流の促進を目的として、2019年にボランティア活動としてのユズ収穫からはじまった。その後、個人で那賀町を訪問し、自主的に農業体験を継続する学生が複数名いた。コロナ禍でその流れが絶たれたものの、関係を継続しより学びの場として発展させるために、2022年度より学科科目の一環としてこの実習合宿の導入を決定した。



展望

2022年度からは、徳島県「県南地域づくりキャンパス事業」に採用され、徳島県、那賀町、Iターン移住者の協力を得て継続しているが、宿泊施設の確保や多様な地域住民と学生の交流をいかに質量的に向上させるかが課題となっている。また、みどりの食料システム戦略を見据え、徳島県内の有機農業の促進への貢献も進めていきたい。



ユズ収穫の様子



収穫したユズの加工



地域交流と郷土食体験



徳島食材を使ったランチ提供